

平成28年度の重点事業とその成果(案)

新規事業

(1) 広域利用の検討

* サービス計画 方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点—1 図書館ネットワークの構築

* 今年度事業

従来の三浦ブロック、藤沢市との広域利用に加え、横浜市との相互利用を3月1日より開始した。これによって、隣接する全ての自治体との相互利用が実現し、市民がより多様な資料を利用できるようになった。

(2) 地域状況に沿った利用しやすい開館日、開館時間の検討

地域別時間帯別の入館者数の調査(入館者カウンター設置)と検討

* サービス計画 方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点—1 図書館ネットワークの構築

* 今年度事業

図書館協議会答申、利用状況を考慮し、次年度以降の開館日の変更、開館時間試行のため協議を進めた。

(3) 鎌倉らしいコンテンツの制作と発信

鈴木正一郎写真資料デジタルアーカイブの公開

* サービス計画 方針Ⅱ 鎌倉ならではの図書館—2 図書館からの情報発信

* 今年度事業

今年度274(合計683)点を図書館ホームページより公開した。

(4) 情報通信技術の活用

図書館システムネットワークのセキュリティ強化

* サービス計画 方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点—1 図書館ネットワークの構築

* 今年度事業

7月に図書館システムのネットワークを分離し、主体的なネットワーク管理を開始した。日常的に確認ができるようになり、障害対応やメンテナンスもスムーズに行えるようになった。

(5) 子どもの読書環境の推進

第三次子ども読書活動推進計画の策定準備

* サービス計画および子ども読書活動推進計画

方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点—2 利用者に応じた読書の支援—(1) 子どもの読書環境の推進

* 今年度事業

学校支援については、学校搬送委託が始動。学校貸出の増加に対応し、一助となった。

鎌倉市子ども読書活動推進連絡会で別途、計画策定のための連絡会議の構成、来年度の策定進行予定を話し合い、市民委員の募集を行った。

継続事業

(6) 図書館利用に障害のある方に対する支援の充実

図書館内環境整備と職員研修による意識向上

* サービス計画

方針 I 図書館は生涯学習の拠点—2 利用者に応じた読書の支援—(4) 図書館利用に障害のある方に対する支援

* 今年度事業

中央図書館前公道より敷地内への段差解消

認知症理解啓発研修、手話研修等の職場研修の実施

対面朗読の試行